

鋸山山行報告

【山行日】2020年2月11日 火曜日

【集 合】岩舟支所駐車場 5:00

【費 用】マイカー2台 : 5,700円

【メンバー】CL鈴木ユ、SL大西、
伊藤、石澤、島田、清水カ、関、福島、福田

【コースタイム】岩舟支所P 5:00 =ザ・フィッシュ

P 6:55/7:10 ~ 浜金谷駅 7:20/7:30 ~ 車力道

7:40 ~ 自然歩道分岐 8:20 ~ 鋸山 8:40~

地球が丸く見る展望台 8:55/9:10~日本寺北口

9:50~地獄覗き 10:10/10:20~大仏広場

10:40/11:00~日本寺北口 11:20~観月台 11:50~ザ・フィッシュ 12:20/13:50=岩舟支所 P16:00

毎年恒例の南房総の山、今年は房総の名山鋸山を計画した。去年から外環道を通り、京葉 JCT から京葉道路を経由して館山道へ抜けられ少し時間短縮が出来る。館山道の



富津金谷 IC で降りて、浜金谷港側にあるザ・フィッシュに車を止める。時間が早くトイレが使えないので、出発の準備をしてストレッチを済ませ浜金谷駅に向かう。駅でトイレを借りて済ませ、駅前の道を左に進む。橋を渡った先の薬局手前を左折し、内房線のガードをくぐったら右に進む。すぐに観月台からの階段が見え、ここは左の車力道コースへ進む。館山自動車道を過ぎるとすぐに車力道入口になり、ここから山道に入っていく。

このコースは去年の台風15号と19号被災による倒木で通行止めになっていたが、ボランティアによる「鋸山復興プロジェクト」の尽力で1月15日から通行が出来るようになった。

いたるところに倒木を片付けた箇所が見られ、ボランティアの方々に感謝しながら登って行く。照葉樹の登山道はこの時季でも緑が多く、北関東では見られない風景を楽しめる。一步一步ゆっくり登り高度を上げて行くと分岐に出て、分岐を左に進み鋸山山頂を目指す。鋸山は江戸時代から房州石の採掘がおこなわれ、浜金谷港から江戸や横浜へ運ばれ建設材として使われていた。その採石場の跡を見ながら急な石段を登り、展望台分岐を直進して進むと鋸山山頂に着く。



山頂は狭く樹林の中で眺望は無いが、山頂の標識前で記念写真を撮り来た道に戻る。展望台分岐を左に登ると直ぐに、地球が丸く見える展望台に出る。ベンチや方向指示盤が



置かれ、東京湾から太平洋が一望の下見渡せる。本当に地球が丸く見え、伊豆半島や伊豆大島、富士山等々が見え素晴らしい。絶景を見ながら S 田さんのしもつかれを美味しくいただき、富士山をバックに記念写真を撮り日本寺へ向かう。分岐まで往路を戻り、分岐から採石場の岩壁を見ながら進み日本寺北口に着く。拝観料600円を払ってパンフレットをいただき、拝観の注意事項や境内の見どころ等の説明を受け境内に入る。

岩を切取った間を進むと広場に出て、左手の崖に刻まれた百尺観音が出迎えてくれる。その先を左に登ると地獄覗きで、岩を切り取った崖にライオンの顔のように岩が付き出て、スリル満点の展望台になっている。皆さんが展望台の先端に行き、下から記念写真を撮りパチリ。さらに山頂展望台に登ると360度の展望で、東京湾から太平洋までぐるりと一周見渡せる。展望を楽しんだら階段の参道を下り、大仏広場に出る。ここには日本一の大仏様が鎮座し、世界平和と万世太平を願い建立されたそうだ。広場の大きなベンチで休憩し、おやつタイムを取る。熱いコーヒーとお茶に、バームクーヘンやチョコレートを美味しくいただいた。トイレを済ませ西口経由で戻ろうとしたら、台風の影響で通行できず来た道に戻る。



山頂展望台まで戻るの、階段の道は結構きつい登りだ。北口から出て少し下った分岐を左に進み、観月台に向かう関東ふれあいの道を下って行く。尾根を緩やかに下るコースで、展望が良く安心して下れる。観月台は小ピークにあり東京湾の展望が素晴らしい。



ここから階段の道を下ると車力道からの道に合わさり、左に来た道に戻ってザ・フィッシュの駐車場に着く。O 西さんがレストランの順番を取りに行ってくれ、名前を書いて来たが30分くらい待ちとの事。靴を履き替え荷物を車に置き、レストランの列に並んだ。中々進まず40分くらい待って、ようやく席に案内される。

一番人気の海鮮丼をオーダーし海を見ながら待つと、ジャンボ貝の器に盛られた豪華な海鮮丼が運ばれてきた。

見た目も豪華だが味も抜群で、とにかく新鮮で美味しくいただけた。

皆さん美味しいものを食べている時が、一番幸せそうな顔に見える。ランチが済んだらお土産をゲットし、袋をぶら下げて車に乗り込み帰路につく。館山道から東北道まで順調に走り、蓮田 SA でトイレ休憩を取り予定より1時間早く岩舟支所に帰着した。